

極秘通信

27号 2018年2月26日発行

【Tel】 052-838-8795

【Fax】 052-838-8796

【Eメール】 no_himitsu@yahoo.co.jp

【ブログ】 http://nohimityu.exblog.jp/

【ツイッター】 https://twitter.com/himitsu_control

【facebook】

https://www.facebook.com/nohimityu

安倍改憲を阻止しよう

共同代表 弁護士 中谷雄二

1 秘密保全法に反対する愛知の会（現在、秘密法と共謀罪に反対する愛知の会）は、安倍内閣による集団的自衛権容認の閣議決定、それを法案化した戦争法、国内治安対策としての共謀罪法など次々に繰り出される戦争国家化への動きにも機敏に反応し、愛知における反対運動の中核になってきた。現在の安倍改憲に総力を挙げて反対することがこの会と会員に求められている。

2 安倍首相をはじめとした改憲派は、現在開かれている通常国会にも憲法9条に3項を加える改憲案を提案することを目指している。自民党内でも様々な意見の対立があるが、いずれも日本国憲法の平和主義の核心である憲法9条2項を骨抜

きにしよという狙いでは一致している。違いは、どの程度骨抜きにするかを競っているにすぎない。首相は、加憲しても現在の自衛隊の1ミリも変わらないというが、その自衛隊は、すでに戦争法によって他国のために海外で戦争できる自衛隊である。自衛権や自衛隊の存在の明記だけを目標していると考えることはできない。安倍首相は、生命をかける自衛隊員に誇りをもつてもらうためというが、中国兵士が死亡するような戦争状態の南スーダンにPKO法にも憲法にも反して自衛隊を送ったのは、安倍内閣である。そこには、言葉と裏腹に自衛隊員の生命を真に尊重する気持ちなど微塵もない。

3 多くの国民は、政府とマスコミが煽り立てる北朝

鮮報道に踊らされ、あたかも日本が攻められるという前提に立って議論をしている。しかし、北朝鮮が一貫して要求しているのは、体制保障と朝鮮半島周辺の非核化のみである。真実、安全保障を議論するのであれば、日本として何をすることが平和につながるかを議論すべきであろう。現時点での国力、軍事力を考えれば、軍事的衝突の危険性は、米軍と日本による攻撃によって体制が崩壊する危機に瀕した時に反撃することしか可能性はない。しかし、それは北朝鮮の体制崩壊だけではなく、数多くの北朝鮮国民、韓国国民を犠牲にし、我が国に暮らす人々にも多大な被害を生むことは自明である。朝鮮戦争で米国の休戦協定により休戦しているだけ（法的には戦争状態）の北朝鮮を軍事的圧力

によって武装解除することはできない。むしろ、軍事的圧力路線が、核抑止力に走らせたのである。実際に東アジアに平和をもたらすためには対話による以外にない。ところが、脅威を煽り、諸外国に圧力を要請して回る安倍内閣は、日本の安全保障にとって脅威以外のなにものでもない。

無罪判決かちとる

白龍町高層マンション建設「暴行」事件 名古屋地裁

【3面に奥田裕美さんの手記を掲載】

愛知県弁護士会

高山佳奈子さん(京都大学教授)を迎え

共謀罪廃止にむけシンポジウムを開催

2017年12月2日 東別院会館ホール

共謀罪

廃止のための第一歩

会員・石黒廣昭

この催しは「共謀罪のある社会」―廃止に向けての第一歩」と題するものだった。共謀罪そのものの問題を理解するにとどまるものではなく、「廃止」のための「第一歩」を確認し、その決意を共有するための企画であったのです。

高山教授の問題提起は、権力者が、共謀罪の必要性として意図的に描き出していることからの問題性を私たちの側から突き出すものになっていました。市民のものである「民主主義・立憲主義」が、安倍政権によってゆがめられ、変質させられている現状を、高山教授は法規上の諸点、情報操作にかかわる諸点、人権保障にかかわる諸点から一つ一

つ指摘されました。そのことによって「共謀罪のある社会」が鮮明に描き出されました。この社会の現実に対しての、私たちの対決方針を高山教授は「おわりに」でまとめています。その根本は権力者が市民の情報を手中に「蓄積」し「利用」する意図であり、それと対決することです。

この高山教授の整理については、さらに中谷弁護士、四橋弁護士が加わっての「対談」で具体的事例の肉づけがなされました。中でも自衛隊・公安警察による情報収集の深刻な現実が強く印象づけられました。中谷弁護士は、ご自身が直接かかわっている自衛隊情報保全隊の問題、大垣警察のシーテック社への情報提供の問題から、「公共の安全性と秩序の維持」の策動の本性を明らかにされました。



「共謀罪のある社会」を語る高山佳奈子さん

高山教授は、権力機関が「犯罪」を口実とした情報収集を実行することが、監視対象となる市民にとって理解不能であることを指摘されました。中谷弁護士はその点について、裁判所のチェックがない、四橋弁護士は令状主義も機能していないことを指摘していました。さらにこれらの点については、スパイの送りこみ、オトリ捜査による冤罪の可能性についてみなさん言及されていました。

私はこの討論において

「共謀罪」に立ち向かうことの重要性を痛感させられました。それは、まさに他人頼みではなく、私たち自

身が声をあげることが根本的に問われていると思うのです。

監視されている

かもしれない罪(共謀罪)

会員・K・H

共謀罪という呼び方に「自分には関係ない。共謀なんてしないし」そう思っていたら、いつの間にか逮捕されていたということになるかもしれない。

高山教授曰く、「やましいこととしてなければ監視されてもいいじゃない？」という論理には誤りがあるということ。個人の嗜好や行動のデータを蓄積することで、その人の行動をコントロールすることができ、自

大垣警察市民監視事件、抹消請求提訴!

弁護士井上卓也

訴訟は、2018年1月23日に第5回弁論を迎え、原告側から第3準備書面を提出しました。同書面は、収集された原

ら決め行動しているつもりでも踊らされる危険がある。そもそも「監視」とは本人に気づかれることなく見張られることであり、気づかぬうちに犯罪者に仕立て上げられる可能性もあるということだ。大垣警察の市民監視事件がそのいい例だと思う。

共謀罪の成立においては、専門家さえ国会でウソの答弁をするなど数々のウソが存在しているとのこと。メディアは、世の中・国会で起きていることをそのまま伝えるのではなく、自ら考え、きちんと立証できる機関であってほしい。それは市民も同じなのだけど…。

告らの個人情報について、外部に発信されているものとそうでないものとの間に権利侵害の差異があるかという裁判所からの問いに対して答えるものです。つまり、シーテック社が残した議事録には、原告らの情報を以前から収集して

いたと考えられる評価や人間関係に関する記載があるが、同記載から、公安警察が原告らを監視すべき対象者としてカテゴライズして収集していたといえ、右情報、情報全体を通して思想信条を推知させるものであり、当該情報の外部への発信の有無は重要ではなく、要保護性について情報をひとつひとつ細分化して権利侵害を検討することは不適切であり、外部に発信しているからプライバシー権の侵害はないとの単純な発想をすべき事案ではないと訴えるものです。

また、公安警察は、今回明らかになったより何十年も前から原告らの情報を集め続けており、それをどのようにに使用したか未だ不明な状態が続いています。私たちは、国家賠償請求にて、議事録によって明らかになった公安警察の収集した個人情報のみが問題視されることなく、公安警察による制限のない情報収集、権利侵害を断罪し、これを止めるべく、2018年1月29日、

人格権に基づき警察庁や岐阜県警が保有している原告らの情報を抹消するよう求め提訴しました。

白龍町高層マンション建設「暴行」事件

〈無罪判決を受けて〉
「被告人」とされた奥田恭正氏の奥さまから手記が届きました。

奥田裕美

「すべては夢をみているようだな」

無罪の判決をいただいた次の日の朝、主人が言った言葉です。一昨年(16年)10月7日の朝、主人が逮捕されました。10月10日の「第9条の会なごや」の講演会で講師の中谷先生がそれ皆様にお話しされ、私も藁にもすがる思いで必死に悲痛な気持ちを訴えました。皆様からの温かい励ましの声は本当にありがたかったです。そこから中谷先生の「秘密法と共謀罪に反対する愛知の会」「安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実

行委員会」や「第9条の会なごや」の集まりに参加し、訴え、支援の輪が広がっていききました。主人や支援の住民の方々は毎日のように講演会や集会やデモに出掛けました。また「景観と住環境を守る会」の著名な弁護士の方が主人の弁護団になつてくださいました。証人となる防犯カメラの映像を5人の弁護士の先生が何度も見て、「これはやっていないよ」「無罪になれるよ」と言つて下さった時、どんなに嬉しかったことでしょう。

ところが警察は主人をその映像で逮捕し、「両手で突き飛ばしているところ」が押ししているようだ」と起訴したのです。主人はその時のことを「相撲の八百長のようにだった、現場監督は自分から後ろに倒れていったんだ」と言っています。「平内に抱えられ、ふりほどく、わざと倒れ、トラッ

クに触れる」という携帯のメモが残っています。警察はこのメモを見ているはずですが、それなのに14日間勾留され、起訴され、裁判にまでなつたのです。

塚田先生がNHKの「ブレイブ」という番組を見ていて、すぐに映像鑑定の第一者である橋本先生に鑑定を依頼し「OK」をいただいたのです。検察が有罪とする証拠を弁護側は無罪とする証拠として鑑定することになりました。公正な判断をしてくださいました裁判官には本当にお礼を言いたいです。無罪とみとめてもらったからには警察には逮捕、勾留、家宅捜査は間違つていたと認め、謝つてほしいと思います。

「ご主人はやってはいけないことをした」と言った刑事がいきました。「僕も調書読んだけどやっているよ」と言つた刑事がいきました。逮捕された当日お昼過ぎに、昼食は食べているのかと心配になり電話したら「食事はこちらで出ます。公費でね。」と言つた刑事がいま

した。こんな警察には不信感しかありません。女性の検事はこんな些細な暴行事件はさつさと片付けてしまいたいという様子でした。裁判の中でも、不利になつてくると早口で読み上げ、弁護団が話している時は手の爪か手の皮を剥いでいるというような人で、仕事をちゃんとやれと思いました。無罪判決がいただけでほっと一安心はできましたが、まだ2週間の控訴期間があるので安心はできません。6回の公判のすべてに支援してくださる方々が詰めかけてくださり、素晴らしい弁護士軍団に恵まれ、本当に感謝しております。主人は「夢を見ているようだな」と言いましたが、私はまるでドラマを見ているようだったと思つています。

しかし、この1年4カ月の間に、肝心な反対運動をしていたマンションは15階まで建ちあがりもうすぐ完成というところまで来てしまいました。とても残念です。これからもご支援をお願いいたします。(2月16日)



連帯の挨拶・近藤氏と本村氏

「あいち市民アクション」が発足し、その集会在12月19日名古屋市教育センターで開催され、三千万署名に取り組み団体や市民約八百人が集った。

昭和区や千種・名東などの市民アクションや、県平和委員会青年学生部の署名活動が報告され、立憲民主党近藤昭一氏、日本共産党の本村伸子氏が連帯の挨拶。全国市民アクション発起人の香山リカさんが「精神科医からみた改憲論」をテーマに講演し、「改憲勢力の心

安倍9条改憲NO!
あいち市民アクション
キックオフ集会を開催
会員・林秀治

理作戦に負けずに、正しいと思うことを続けて」と語りました。TVで見る黒縁眼鏡は無く、とても新鮮で道化師の様に語りかけ、精神科医らしい例えには思わず「そうだ、そうしよう」と、相槌を打ちました。

まとめで中谷雄二弁護士は「三千万はとてつもない数だが、国民の七割近くが改憲をダメだと言っている。これを形にして改憲発議をさせない世論に高めよう」と結んだ。

共同行動

1・19集会とデモに六百名

会員・森晴重

1月19日安倍改憲NOの集会・デモが久屋広場で行われました。安倍首相が昨年5月3日に打ち出した自衛隊を憲法に書き加える中身の危険性についてや、2月4日に行われる予定の名護市長選挙の情勢や現地の様子などの発言があり改めて安倍政権、日米両政府のやっていることが沖縄県民はも



行動提起する中谷共同代表

ちろんですが多くの国民の思いに反することはかなりやっていると怒り心頭に発しました。

前向きな発言も聞くことができました。改憲NO!の3000万人署名が積極的に行われている事です。5月末までに集めるのは並大抵の事ではないが何とかやりきろうと熱い気持ちのこもった発言がとてもよかったです。デモも寒い中にもかかわらず以上の怒りの声が上がっていました。私も今回参加して皆さんからもらったエネルギーを力に改憲阻止・安倍首相に1日も早くやめてもらえようように取り組んでいきたいと思えます。皆さんこれからも頑張りましょう。

<総会次第>

***と き: 2018年4月8日(日)**

13:15 開場

《総会》 13:30~

《記念講演》 14:15~16:40

「治安維持法と共謀罪」

***講 師 内田博文さん**

(九州大学名誉教授・刑法)

***報 告: 原夏子さん**

「父・新村猛と治安維持法」

***ところ: ウィルあいち大会議室**

***参加費: 500円**

**4月8日(日)愛知の会6周年
総会+記念講演にご参加を!**

2012年4月に結成した「愛知の会」は、昨年安倍政権が共謀罪の成立を策したさなかに、「秘密法と共謀罪に反対する愛知の会」と改称し、共謀罪を阻止するために全力を挙げてたたかってきました。強行成立を許したとはいえその廃止に向けてがんばっています。安倍政権は憲法を変え「戦争する国」づくりの総仕上げに入っています。70有余年「非戦」を通してきた日本は重大な岐路に立っています。

「愛知の会」は6周年を迎えます。安倍9条改憲を阻止し、秘密法と共謀罪を廃止に追い込む闘いを元気よく進めるべく総会を開催します。記念講演は治安維持法研究の第一人者である内田博文さんをお招きしました。共謀罪の本当の意味を学び、私たちの闘いの糧にしましょう。お集まりください。